

第45回 高知女子大学看護学会



人生百年時代の 看護のSHIFT (シフト)

ある研究では2007年に日本で生まれた子どもの半分以上が107歳より長く生きると推計されています。人生百年時代の到来は、人の人生への考え方、人生の過ごし方を根本から変えていくでしょう。それに伴い、ケアのあり方も変わっていく必要があります。人が100年という長い期間をより充実し過ごせるように看護は何をすべきなのか。看護がSHIFTする未来について考えていこうと思います。

開催日時 : 2019年7月20日(土)10:00~15:30

午前の部

講演テーマ: 「人生百年時代と健康格差」

*** 講師 高木廣文先生 天使大学副学長/看護栄養学部看護学科教授**

午後の部 ワークショップ 7題

開催場所 : 高知県立大学池キャンパス

参加費 : 学会員 無料 一般2,000円 学生1,000円

■認定看護師・認定看護管理者更新審査の自己研鑽実績加算対象

参加申し込み用
QRコード

右のQRコードから、参加申し込みが可能です。



第45回 高知女子大学看護学会プログラム

10:00 ~ 開会の挨拶

10:20 ~ 講演「人生百年時代と健康格差」

※講師 高木廣文先生 天使大学副学長/看護栄養学部看護学科教授

13:30 ~ ワークショップ7題

話題提供者は決定次第、学会のホームページでお知らせいたします。

学会HP
QRコード



ワークショップ1 人生百年時代に向けての仕組みづくり 多職種協働

健康は、個人の自助努力だけでなく個人を取り巻く様々な環境「社会的決定要因」を考慮する必要があります。人々が地域で自分らしく暮らすことを支える地域づくり、人々の主体的な選択を支援する仕組みづくりなどについて、行政・福祉・看護など様々な立場から意見交換し考えていきたいと思えます。

ワークショップ2 人生百年時代 老年期の多様な生き方を支える

高齢者の多様な生き方を支える取り組みとして、厚労省は、多様なライフスタイルを可能にする高齢期の自立支援、地域社会への参画促進など4つの課題を設定しています。実際のところこれってどういうことなのか…今高齢者保健医療の現場で起きていることを見つめなおし、未来について考えていきたいと思えます。

ワークショップ3 病と共に生きる百年

医療の進歩と超高齢化が進む中、今後の医療において、加齢に伴う全身疾患や慢性疾患を抱えながら生活する人が多くなり、慢性期医療のニーズは高まっていると考えます。このような状況における医療や看護について考えていきたいと思っています。

ワークショップ4 人生百年時代を担う子どもの力

人生百年時代を生きる子どもを取り巻く環境は、健康格差や地域におけるつながりの希薄さ、核家族化による子育ての孤立化など、厳しい状況下にあります。様々な健康レベルにあるすべての子どもが、健やかに成長・発達し生きる力を培っていくための、地域、医療、教育が連携、協働した子どもや家族への支援について考えていきたいと思えます。

ワークショップ5 人生百年時代のライフキャリア

キャリアとは自らの社会での存在意義のことです。あなたは、将来のキャリアに向けて、もうギアチェンジをしていますか。それとも、まさに今自分の将来について考えていますか。このワークショップではいろいろな視点から、長くなった人生をどう生きていくのか、ライフキャリアについて考えていきたいと思えます。

ワークショップ6 人生百年時代 新しいアプローチの開発

高齢化先進国高知では、全国に先駆け、ノーリフト(腰痛予防対策)の知識を活かし、ケアの質の向上を考えていく活動が始まっています。その取り組みとともに、世界のノーリフト先進国オーストラリアでの取り組みの実際を聞き、人生百年時代に向けた新しいアプローチを開発し、実践でいかしていくってどういうことなのか考えていきたいと思っています。

ワークショップ7 人生百年時代のキャリアデザイン

人生百年時代における新卒看護師はいったい何十年、専門職として社会に貢献していくことになるのか、多様化する時代の中でどのようなキャリアの積み方があるのか。卒業後3~4年目の看護職が学生時代から紆余曲折に歩んできた道のりと今後の展望についてお話を伺い、これからの長きにわたる専門職としてのキャリアをどのようにデザインしていくのかを考えていきたいと思っています。